

雑巡り、着物姿で華やかに

大迫「宿場の雑まつり」

家々で受け継がれてきた雑巡り人形を一緒に展示する「宿場の雑まつり」が2月19日から3月3日にかけて、大迫町内で開催されました。大迫交流活性化センターをメイン会場に商店や住宅など計25力所で展示。江戸時代の享保雑や古今雑など、合わせて2千体以上の雑巡り人形が並び、来場した多くの市民や観光客を魅了しました。開催期間中の21日には、着物で雑巡りを楽しんでもらおうと着付けサービスが行われ、着物で着飾った皆さんが、会場を一層華やかに彩っていました。



着物姿で思い思いに雑巡りを楽しむ来場者の皆さん

ふるさと回帰の思いを込めて

サケの稚魚放流会

2月28日、北笹間地内を流れる宇南川で、笹間地区コミュニティ会議と笹間地区環境を守る会の共催によるサケの稚魚放流会が行われました。これは、地区内の環境保全や宇南川の清流化を目指して行われているもので、3回目となることは地区民約70人が参加。花北鮭増殖組合の協力により、2万5千匹のサケの稚魚を放流しました。参加者は「元気に育ってね」「ちゃんと戻っておいでよ」などと声を掛けながら、泳ぎ出した稚魚に手を振っていました。



サケの稚魚をバケツから川に放す参加者

多彩な鍋、食べ比べ

鍋まつりN-1グランプリ

酒蔵まつり冬の陣「鍋まつりN-1グランプリ」が2月28日、ピバハウスいしどりやで開かれました。7回目の開催となった同イベントには、市内外の飲食店など17団体が参加。ホルモン鍋、かき鍋、まぐろ鍋、スイーツ鍋など、趣向を凝らした鍋料理を1杯100円〜400円で提供し、自慢の味を競いました。来場者は、多彩な鍋の食べ比べを楽しんだ後、お気に入りの鍋に一票を投票。その結果、グランプリには、夢屋(高木)の牛スジ鍋が輝きました。



N-1グランプリで、目当ての鍋料理を買い求める来場者

賢治ゆかり

第47回

賢治ゆかりの地―清水寺

「蜂蜜いろの夕陽のなかを／みんな渴いて／稲田のなかの萱の島／観音堂へ漂ひ着いた」
〔春と修羅〕第三集「穂孕期」より

この作品に登場する観音堂は、太田の清水寺であるとされています。

清水寺は大同2(807)年に征夷大將軍・坂上田村麻呂の勸請(※1)により創建されたと伝えられ、京都府および兵庫県の清水寺と共に「日本三清水」の一つです。また、当国三十三所観音霊場(※2)の第1番札所としても知られています。

太田の清水寺の山門(写真)2階には、札所の観音像が安置され、観音堂内本尊の十一



清水寺 山門

面観音は、坂上田村麻呂が祭ったものと言われ伝えられています。

賢治は、花巻農学校の教師をしていた時や、その後、独居自炊生活をしていた時など、何度もこの清水寺に足を運んだそうです。

清水寺の門前は「市」として古くからにぎわっています。賢治も旧暦の6月と7月に催された清水祭(宵宮)の盛況ぶりを「田園浅草」と名付け、教え子たちを連れて出向いたといわれています。

※1…神仏のおいでを願うこと
※2…当時の南部藩の和賀・神貫・志和の3郡にある、観音菩薩を祭る33力所の寺院

【問い合わせ】

本庁賢治まちづくり課
(☎24・2111内線365)

わたしたちの地域づくり

雪に親しみながら 元気な地域づくり

東和東部地区コミュニティ会議では、「いつまでも住み続けたい晴谷の郷土・健康で明るく元気なまちづくり」を基本方針に掲げ、さまざまな事業を展開しています。

今回は、生涯学習事業の一環として教育振興部会が取り組んでいる「雪合戦教室」と「雪合戦大会」などを紹介します。

この事業は、雪遊びが進化した冬のニュースポーツである雪合戦を通じ、雪に親しみながら元気な地域づくりに寄与することを目的とした若者対象のスポーツ振興事業です。本年度の「雪合戦教室」は、地域内の集会施設を利用して全9回にわたり開催し、中学生から大人まで幅広い年齢層の計168人の参加を得ました。

●東和東部地区コミュニティ会議

2月初旬の「子ども雪合戦大会」は、雪不足のため屋内開催となったにもかかわらず、中学生主体の5チームが参加。好プレー続出の白熱した試合が展開され、盛り上がった大会となりました。また、「ほっとゆだ北日本雪合戦大会」には、大人のチーム編成で数チームが継続して出場し入賞するなど、毎年好成績を収めています。



平成27年度「子ども雪合戦大会」の様子

【問い合わせ】

東和東部地区コミュニティ会議(☎44・3281)